

令和6年度 卒業式 式辞

ただいま、261名の皆さんに「卒業証書」を授与しました。改めまして、ご卒業おめでとうございます。担任より一人ひとり呼名をされ、それぞれの思いを胸に、立ち上がる皆さんの姿をみて、凛々しく、そしてたくましく感じました。卒業証書はクラス代表にお渡ししましたが、私としては、261名一人ひとりに渡したのと同じ思いであります。

そして、本日、ご参列いただきました保護者の皆様におかれましても、大切にお育てになったお子様のご卒業、誠におめでとうございます。

日々成長を見守る中で、多感な時期ならではの難しさや、もどかしさを保護者としても感じつつ、でも子供のためにと、思い悩んだことも多かったことと推察いたします。暖かく見守っていただき、今日の良き日を迎えることができましたことを、我々職員一同大変うれしく思っていると同時に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

4月から、いろいろな話をしてきました。

最後に皆さんの門出にふさわしい、稲盛和夫さんの話を贈ります。京セラ(株) KDDI (au の会社) を創業した、「稲盛和夫」さんは、「人生の方程式」という考えを著書に残しております。今、皆さんが当たり前にスマホを利用していますが、稲盛さんがいなければ、もう少し遅れていたかもしれません。

KDDI (前身は DDI : 第二電電企画という会社) ができなければ、NTT (ドコモ) の独占状態だった通信業界の自由化は生まれませんでした。

当時は、第二の通信会社なんて作れるわけないと、稲盛さんは、世間で笑われていました。その常識を打ち破り、通信業界の自由化に成功し、第2、第3の通信会社が生まれ、今の「スマホ時代」を迎えたのです。

まわりの人々は、みんなネガティブだった中、今の時代を想像しながら、前向きに壁を1つ1つ破っていった稲盛さんの「高い志」は、素晴らしいと思います。勇気と努力、そして、周りの人たちの支えがあって、今のスマホ時代を導いたのです。感謝ですね。

また、平成最大の倒産といわれた JAL (日本航空) の倒産を政府が支援し、その建て直しを図ったのが、稲盛さんでした。数々の逆境をはねのけてきた方が、人生成功の秘訣を方程式で表しています。

その式は、

「人生および仕事の結果＝熱意×能力×考え方」です。

ポイントは、掛け算であるところと「考え方」ですかね。「熱意・能力」は、あるか、ないかで計れ、0から100で表とします。いずれかが「0」であれば、掛け算ですので、結果が「0」になります。

でも「考え方」は、プラス思考かマイナス思考か、＋プラスと－マイナスで表します。－100から＋100まであるとすると。たとえば、やる気も才能も MAX、「熱意・能力」が100ずつならば $100 \times 100 = 1$ 万です。

しかし、「考え方」がマイナス1（－1）であれば、 $\times -1 = -10000$ （1万）になります。また、考え方が些細なマイナスであっても、人生の結果はすべてマイナスになります。方程式上では「熱意・能力」（やる気・才能）が「0」の人より成功しないことになりますね。

要するに、「やる気・才能」が高かったとしても、前向きな、プラス思考、ポジティブな考え方をしなければ、成功しないということです。社会に出ると、コロナ禍の時のように、今ある現象は変えられないことが多いです。逆境の時ほど、前向きに考え行動することが次の成功に結びつく秘訣でしょう。

今年度は、パリオリンピックがありました。スケートボード、パークの決勝で堀米佑斗選手が、4本目まで、失敗をしてTOPとは大きく点差がついている状況で、ラスト1本を迎えました。普通のメンタルなら失敗したらどうしようと考えるところ、彼は、いつもは聞く音楽も聴かず、いままで練習してきた1つの技だけに集中して、トライしました。結果は見事成功、逆転で、2大会連続の金メダルに輝きました。本当に素晴らしいと思います。

無理だろうと思っていた人がほとんどの中、もしかしたら自分一人だけが、成功のイメージをもっていたのかもしれませんが。ちょっとでも、ネガティブに考えたり、集中を切らしていたら、金メダルはなかったと思います。どんな逆境だろうと自分を信じ、自分の力を出すことに集中できたことが、一流の証でしょう。

まさに「成功の方程式」ですね。

皆さんも人生の様々な場面で、いろいろな経験をするとと思います。成功を手にするには、「考え方」を前向き（プラス）に変えることが大切ですね。困ったときに、稲盛和夫さんの「人生の方程式」を思い出してください。

1年間の話のまとめです。

「苦しい時こそ、顔をあげて前を向くこと。そして、自分のことばかり考えるのではなく、思いやりや優しさを持ち、人のために動ける人間になること。」

このルーティンで、応援してくれる人が増え、必ず自分の夢に近づけます。最後に成功のカギを握るのは、自分の考え（高い志）です。

伊志田高校で学んだことは、「高い志を持ち、人生、笑顔で前向きに生きること。」ですかね。応援しています。

結びになりましたが、これまで、本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただきました、保護者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆さんは、これからも「伊志田 FAMILY」の一員として、後輩たちにいい刺激を与えるために、また戻って来てください。私たちは、いつでも歓迎します。

卒業生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。どうぞ、健康に留意され、ご活躍ください。頑張れ！

令和7年3月3日

神奈川県立伊志田高等学校長 広瀬邦彦